

【資格の大原 静岡校】

2025 年宅建士試験 合格者インタビュー



A ・ K 様 会社員

2025 年 宅建士合格コース・入門パック

2025 年 宅建士試験合格（受験回数 1 回）

キャリアアップのために宅建に挑戦！

キャリアアップのために宅建に挑戦！大原を選んだのは、「先生に直接質問できる対面授業があるから」。授業でのゴロ合わせが記憶に残りやすく、授業に全集中し、問題集をとにかく回したとのこと。大原の学生ホールや自習室のほか、いろいろなカフェで場所を変えて集中して勉強。クラスの仲間と切磋琢磨できたのも大きかったと授業を振り返る。A・K 曰く、受験勉強中、不安になった時でも『必ずワンチャンあるという先生の言葉を胸に、最後まで諦めずに頑張りました！』とのこと。キャリアアップをめざす方必見の合格体験記！

■受験の動機

—— 合格おめでとうございます。まずは、宅建を受験しようと思ったきっかけを教えてください。

A・K キャリアアップを考えた時に、手に職をつけたいなと思ったんです。今の時代、資格を持っていた方が自分の自信にもなるし、武器になるんじゃないかなって。それで何か資格を探し始めて、宅建があったなと思い出しました。元々、建物を見るのがすごく好きで、仕事で外に出ることも多いので、「ここいいな」とか勝手に思いながら見ていたんです。不動産に興味があったので、これだ!と思って受験を決めました。

■勉強方法の選択に関して

—— 独学という選択肢もある中で、大原に通おうと思った理由は何ですか？

A・K 最初は独学で始めました。宅建業法は終わったんですが、次に民法に入った時に、全く勉強してこなかった分野だったので、もう全然分からなくて。YouTube とか見ても、先生に直接聞けないのが結構きついなと思いました。それでいろんな予備校を調べ始めたんです。大原

の合格体験談をホームページで見て、石田先生の授業の仕方とかも色々載っていたので、「あ、自分に合うかもな」と思いました。通信もあったんですが、やっぱり先生に直接聞ける環境がいいなと思って、教室通学を選びました。

—— 大原を選んだ決め手は何でしたか？

A・K 通学で直接質問できるというのが一番大きかったです。自習室や勉強ができる学生ホールが大きいのを見て、「いいな」と思いました。立体駐車場もあるので通いやすかったですし、そういう施設面も決め手になりました。

■勉強面に関して

—— 実際に授業を受けてどうでしたか？

A・K 通学にして本当によかったなってすごく思います！ 映像で受講するのと実際に先生にお会いして受講するのでは、全然理解度が違うんです。仕事の関係で時間が合わなくて何回か行けなかった時があったんですが、やっぱり理解がすごく難しくて。先生の授業を聞いて理解できるのと、あと先生がゴロ合わせをしてくださるじゃないですか。あれが結構頭に残るんですよ。だから授業に行けなかった時にゴロ合わせを聞けなかったりすると、「うわー」って思いました。やっぱり直接聞いた方が頭に残るんだなって実感しました。



—— 授業を受けるにあたって工夫した点はありますか？

A・K 合格体験談で読んだのですが、昨年の合格者の方が「授業で教科書の内容を覚えるぐらいの勢いで聞いて、家に帰ったら教科書は開かない」というのを実践されていて。それをすごく自分の中でも実践しようと思ったんです。授業中、全集中で真剣に聞いて、分からないところがない状態にして復習するというのを心がけました。もう授業中に全部覚えるつもりで授業に臨んでいました。

—— 自宅での学習方法を教えてください。

A・K 授業でしっかり聞いていたので、教科書はもうほとんど開きませんでした。問題集中心で、分からないところだけ講義録を見るっていう感じです。問題集だけをひたすらやっていました。それだけで十分でした。

—— 平日と休日の学習スケジュールはどんな感じでしたか？

A・K 平日は朝が早すぎて朝の復習とかはできなかったんですが、その代わりに帰りが早くて、夕方5時くらいには家に着いていました。そこから2~3時間くらい勉強していました。9月に入ってからにはもっとガッツリやりましたね。土日は家にこもっていると寝ちゃうので、絶対寝れないように大原の自習室を使ったり、図書館や喫茶店に行って、1日中外で勉強していました。土日は8時間、調子が良ければ10時間くらいやっていました。

—— 学習中に苦労されたことはありますか？**

A・K 宅建業法の35条とか37条とか、毎回間違えるんですよ。それを全部覚えなきゃいけないって思った時に、「できるかな」ってちょっと不安になりました。法令上も覚えなきゃいけないし、民法も絶対捨てるわけにはいかないし。結構舐めていた気がして。8月くらいに過去問をパラパラって見てみたら、「あ、無理、無理そうだ」って。本腰を据えないとやばそうだなと思いました。思ったより記憶するところが多くて、ちょっとそこは舐めていたなって反省しました。



——モチベーションを維持するために心がけていたことは？

A・K 勉強を頑張っている人の動画を見たり、不動産営業の人の年収とかの動画を見て、モチベーションを上げていました（笑）。合格体験談もよく読みました。授業の最終回以降に『本気になった』方がいらっやって。「まだ間に合う、大丈夫！」と思って頑張れました。

—— クラスの雰囲気はどうでしたか？

A・K すごく楽しかったです！モチベーションキープに本当に役立ちました。Ｙさんとか、結構テストの点数が良さげな感じだったんですよ。だから「まずい、自分何番目だろう」とか思ってた。この人は絶対受かるなって思っていたので、自分も負けないようにって。そういうクラスの雰囲気、切磋琢磨できる環境がすごくモチベーションにつながりました。一人で勉強していたら（他の方の様子が）分からないですからね。

—— 周りには受験することを伝えていましたか？**

A・K 職場の人には言っていないです。家族や友達には言っていました。応援してくれましたけど、「本当に受かるのか!？」みたいな感じでしたね(笑)。でもそれがプレッシャーになって、頑張れました。



■いよいよ本試験！

—— 試験直前期の過ごし方を教えてください。

A・K 9月に入ってから、もう本当に何も予定を入れませんでした。友達と遊ぶとか、遠方に実家があるので帰らなきゃいけないんですけど、その往復の時間とかも絶対後悔するなと思って。9月から10月の前日までは何も予定を入れないで、ずっと集中しました。それまではスタバとかで勉強していたんですが、隣に座った子が宅建の勉強をしていて。同世代ぐらいの女の子で、自信なくなっちゃうんですよ、私そういうのを見ると。「負けてらんない」とか「この子どれぐらいできるんだろう」とか気になっちゃって(笑)、妄想が膨らんで。それからもう家にこもって勉強していました。

—— 試験当日の様子を聞かせてください。

A・K 早めに出ました。静岡駅の駅ビルの喫茶店でちょっと勉強してから行こうと思っていましたが、緊張しすぎて全然集中できなくて。今思えば、無理に早起きして行かなくてもよかったかなって。ちょっと家で呼吸を整えてから行った方がよかったなと思います。

グランシップの会場は人が多すぎて、すごく広い空間にびっしり人がいて、「本当に受かるのかな、自分」って心配になっちゃいました。でも、先生が毎回「ワンチャンある」って言ってくださっていたので、ずっと心の中で「ワンチャンある、ワンチャンある、大丈夫」って思っていました。

—— 試験はどのように進めましたか？**

A・K 宅建業法からガーッと解いていきました。でも今回、宅建業法 20 問中 10 問が個数問題だったんです。模試では結構 18 点とか取れていたんですが、「うわ、どうしよう」と思いました。でも、自分が模試を解いて、宅建業法が難しかったら民法とか法令上が簡単という傾向をなんとなく感じていたので。「じゃあ宅建業法は今回難しいってことは、こっちが簡単だから大丈夫」って気持ちを切り替えました。

宅建業法、法令上の制限、5 問免除まで 1 時間 15 分くらいかかっていました。全然模試より時間がかかって、見直しなんて全然できなかったです。そこから権利関係に入ったんですが、身構えていたよりは「あれ、解けるぞ！」っていうのがあって。見たことないようなのはとりあえず飛ばして、最後の 10 分くらいでじっくり考えました。常識的に考えたらこれだろうっていうのが当たっていて。あんなに権利関係で模試とかつまづいたのに、一番点数が取れたんです。本当に良かったです。



—— 自己採点はいつされましたか？

A・K 帰ってすぐにやりました。もうそわそわしちゃって。最初は多分他校のものを見て、それから大原の解答速報を見ました。37点だったので、手が震えちゃって。「これいけるんじゃないか」と思いました。今回は合格点が低めっていう予想を見て、マークミスさえしていなければ「ワンチャンいけるぞ」と思って。とにかくマークミスだけしていないでくれって願いながら、発表を迎えました。

■合格発表！

—— 合格発表の瞬間は？

A・K 仕事だったので、お昼の休憩の時に一人でパッと見て、「あ、ある！」って思いました。でも何回も見ちゃって。「このメモした受験番号、自分合ってるかな」「ちゃんと静岡県のがつ見れてるかな」って不安になっちゃって。合格証書が来るまで、本当に受かっているのか、間違いじゃないかってすごくソワソワしていました。合格証書が来て、やっと実感が湧きました。家族に伝えたら、「すごい、よくやったね」って言ってもらえて、すごく嬉しかったです。周りからも「受かった、よかったね」って言われて、喜びが増えていきました。

—— 自分へのご褒美はありましたか？

A・K 受かったら旅行に行こうと思っていたので、岐阜に行きました！温泉に入って、美味しいお肉を食べました。紅葉がすごく綺麗で、季節も良くて最高でした。受かって、岐阜の紅葉を見て、美味しいもの食べて、本当に幸せでした。

—— 今後の抱負を聞かせてください。

A・K まずは就職活動を頑張っていこうと思います。宅建の資格をせっかく取れたので、それを武器にできるような不動産関係に就ければいいなと思っています。資格を活かして、キャリアアップしていきたいです。マンション管理士も考えているんですが、まだ調べ足りていないので、これから検討します。



—— これから合格を目指す方へメッセージをお願いします。

A・K 受かる気があれば受かります! (笑) とにかくやる。そして、授業には絶対に出てください。私は何回か欠席しちゃって、絶対しない方が良かったなってすごく後悔しているので。やっぱり先生の話の直接、聞くからこそ頭に残るんです。それと問題集をとにかく回す。それだけやっていれば、今回難しいって言われた試験でも、全然解けると思います。自分を信じて、最後まで頑張ってください。 大原宅建士講座OGとして応援しています!

★インタビューを終えて★

復習ではテキストを確認しなくてもよいくらい授業を全集中で受ける! 直前期のラストスパートは圧巻です。ますますのご活躍を祈念しております。改めて、合格おめでとうございます!

大原スタッフ一同



(右: A・K 様 左: 石田講師 / 実施日: 2025 年 12 月 3 日 / 場所: 大原静岡校)